

# 九州 兼喜

2021. 1

No. 140

## 恭賀新年



謹んで新年の  
ご祝詞を申し上げます

令和3年 元旦



# 年頭のご挨拶

九州兼喜会  
会長

篠森 義晴



明けましておめでとうございます。

清水建設九州支店の皆様、又、九州兼喜会の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えになられましたこと、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は皆様方に多大なるご高配を賜り、心より感謝申し上げます。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

昨年は、全ての方々がコロナに翻弄された一年だったのではないのでしょうか。マスクに始まり、三密の回避、国家非常事態宣言、第二波、第三波と、私も一年中コロナの対応で右往左往致しました。

現在も終息の目途がたっておらず、闘病中の方も多数おられます。心よりお見舞いを申し上げますと共に、感染症でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。

一日も早く安全なワクチンや治療薬が開発され、全ての方々が安心して生活できるよう心から願う次第であります。

昨年一年間で、あらゆる事が激的に変化しました。生活スタイルや働き方、会食の仕方、コミュニケーションの取り方、例をあげるときりがありませんが、一年前には考えも及ばないような変容ぶりです。

私も今までマスクなど付けたことがありませんでしたが、今では自然とマスクをつけるようになりましたし、社会人になって、自宅で晩酌をした回数は、間違いなく昨年が過去最多であります。

皆様と直接お会いできる事を楽しみにしておりました総会や安全大会も中止となり、やむを得ないとは言え、大変申し訳なく、残念な気持ちで一杯であります。

早く元通りの生活に戻りたいという想いはありますが、全て元に戻るという事は無いと思います。テレワークやオンライン会議などをはじめとしたDXは昨年一年間で格段に進化し普及しました。効率化が進み、大変便利な世の中となりました。この流れは今後も更に続くと思います。しかし、デジタルの進化でどれだけ効率化や省力化が進んでも、絶対に忘れてはならないアナログな事もあります。相手の表情や温もりを感じながら、ひざをつきあわせて会話をしなければならない事もありますし、義理

や人情、情緒や道徳心など、このような時代だからこそ、より尊重して行かなければならない事もあると思います。

昨年は「エッセンシャルワーカー」という言葉をよく耳にしました。どんな有事が起こっても生活維持に欠かせない職業に就いている方々の事をそう呼ぶそうです。

最前線で感染症と戦ってくださっている医療従事者の方々は勿論のことですが、福祉・介護のお仕事に従事されている方々、電気・水道・通信を供給して頂いている方々、食べ物や薬、日用品などを供給してくれている物流・流通業の方々などがそれにあたるそうです。

全てのエッセンシャルワーカーの皆様にも心より感謝を申し上げるとともに、心より敬意を表したいと存じます。

そしてなにより、現場で粛々と奮闘している我々建設業従事者も正にエッセンシャルワーカーであります。建設業は間違いなく国家の礎を担う職業であります。

最前線の現場で従事している仲間は、雨の日も風の日も、寒い日も暑い日も、たとえ感染症のリスクがあろうとも、現場に赴き業務を遂行している訳であります。在宅勤務やテレワークはできません。建設業従事者ももっとスポットライトを浴びて良いのではと思います。

事業主の皆様におかれましては、如何に尊い仕事をしているのか、自信とプライドを持って頂くよう会話をして頂きたいですし、更に社会に貢献できるよう、品質、安全においてプロフェッショナルとなるよう教育をして頂き、その自覚を持つようご指導をお願い致します。

安全に関しましては、昨年九州支店では、クレーンの転倒災害をはじめとした重機関連災害を起こしてしまいました。また、休業災害、不慮災害ともに多発し、大変申し訳なく、深く反省する次第であります。今一度初心に戻り、再発防止に一意専心して参る所存であります。清水建設の皆様におかれましては、より一層の御指導を戴くと共に、事業主の皆様の確固たる決意と行動をお願いいたします。

今年が丑年です。丑年は「我慢強く耐えたことが発展し芽吹く年」といわれているそうです。昨年の皆様の我慢や不便が解消され、明るく安寧な生活を取り戻す契機となる一年になればと思います。

令和三年も大変有難い事に仕事量が多く、九州兼喜会の力を総結集させなければ乗り越える事ができません。まずは災害を無くし、安全第一を肝に銘じて、清水建設様の社業に貢献できるよう精一杯精進する所存であります。感染症対策を実施しながらの難しい運営になると思いますが、本年も何卒宜しく願い申し上げます。

皆様方にとりまして、令和三年が素晴らしいものとなりますようご祈念申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。



# 年頭のご挨拶

清水建設㈱ 九州支店  
常務執行役員支店長

堤 義人



新年あけましておめでとうございます。

兼喜会の皆様方におかれましては、旧年中、一方ならぬご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。本年も引き続きよろしく願い申し上げます。

昨年を振り返るにあたり、やはり新型コロナウイルスの話を選けては通れないかと思えます。昨年の1月28日に国内で初めての感染者が確認されて以来、感染は拡大の一途を辿り、この年末年始はまさに流行の第三波の到来が言われている中、例年の行事や楽しみにしていた親族・友人との再会を控えられた方々も多かったのではないのでしょうか。現在、罹患し、療養されている方々におかれましては心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。まるで映画の世界さながらに、一つの感染症がここまで世界を変える事になろうとは、一年前のこの時期には全く想像しておりませんでした。未だどのような形で収束に向かうのかはわかっておりませんが、最近では、ニューノーマルの生活の仕方にも皆徐々に慣れてきているように感じます。一年延期とはなりましたが、今年の7月には東京オリンピック、パラリンピックも開催され、アスリートたちの熱い結末を目にする時、私たちはウィズコロナの試練を前向きに乗り越えていく、新たな時代の幕開けを感じ取ることができるのではないのでしょうか。私共と兼喜会の皆様もそのようなアスリートに負けない強い結束で今年一年の様々な難局を乗り越えてまいりたいと思います。

また昨年の7月には熊本県を中心とした九州地方を始めとして、中部地方や東北地方など日本各地で集中豪雨が発生しました。いわゆる「令和2年7月豪雨」と呼ばれるものです。九州管内では熊本県を中心に、河川の氾濫等によって多くの家が浸水をし、たくさんの方がお亡くなりになりました。また、この豪雨によって農林水産業

を中心とした地域産業への影響も甚大でした。毎年のように襲いかかる自然災害を前に、私たちがいかに無力かということを痛感せずにはられません。被害に遭われた方々には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧を願うばかりです。また被害にあわれた得意先の店舗等はもちろん、弊社従業員の自宅や実家の被災家屋の後片付けも、熊本の協力会社の皆様のご協力を得ながら迅速に対応することができました。この場をお借りし、あらためて御礼申し上げます。

安全に関しては、兼喜会の皆様のご協力も仰ぎながら最優先で取り組んでおりますが、昨年は、休業災害4件、不休災害55件、うち熱中症21件という結果となりました。なかでも忘れてはならないのが、9月12日に旧大名小跡地建設所で発生したクレーンの転落事故です。この事故では残念なことに、クレーンオペレーターの方が3日後にお亡くなりになっております。お亡くなりになった被災者の方には心よりお悔やみを申し上げます。お亡くなりになったクレーンオペレーターの方以外には、第三者や現場作業員に被害が及ぶことがなかったことが、せめてもの幸いではありましたが、転落したクレーンによって隣接の建物を一部破損させ、現場においても山留切梁が破損するという大変大きな被害が生じました。兼喜会の皆様におかれましても、常日頃より安全に気を配り最善を尽くしていただいているのは十分に理解しておりますが、今一層、確たる信念をもって日常の安全管理にあたっていただきたく、お力添えの程よろしく願い申し上げます。

さて、早いもので支店長に就任し4回目の年始を迎えることとなりました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ながら6月の安全大会や11月の技能オリンピックを開催することができず、皆様との懇親を深める機会もいつもとは違った形となった一年でした。その中でも記憶に刻まれた出来事は、先程申し上げた旧大名小跡地での事故の日、一報を聞かれた篠森会長以下、兼喜会幹部の皆様が真っ先に現場に駆けつけ、初期対応にご尽力いただいたことでした。不幸な事故ではありましたが、そのような困難のなか陣頭に立っていただいた皆様のひたむきさには頭が下がる思いでした。様々な機会の皆様のご一生懸命さに接するたび、共に仕事ができることを本当に心強く感じて



おります。支店長として、これからもこのような良好な関係を維持し、発展させていくことが責務であろうと深く考える次第です。

好調な受注だった一昨年と比べ、昨年は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、大型案件や有望案件の遅れや計画中止が相次ぎました。またウイズコロナのフェーズに入り、人々の行動様式は大きく変容を遂げ、Digital Transformation(DX)の加速により、デジタル化・業務の効率化による在宅勤務の普及等、新しい働き方、変革の波が世界的に急速に広がっています。社会のウイルスへの意識や、人々の行動様式、働き方が大きく変容するとされる新しい常態、つまり、ニューノーマルを見据えて私共も臆することなく積極果敢に挑戦し、「進取の精神」や「顧客第一」といった弊社の歴史において“変えてはいけないもの”に新たな価値を産み出し、お客様に提供することを目指してまいります。

誰も経験したことのない難局をチャンスととらえ、スピード感をもって事に臨むには、弊社だけでは何も為し

得ません。兼喜会の皆様のご協力があってこそ初めて成し遂げられるものです。皆様と胸襟開いて意見交換し、互いの信頼感をさらに深めつつ、より強固な協力関係を発展させていきたいと願っております。

昨年11月にはアメリカ大統領選挙が実施され、様々な騒動を経ながらも、バイデン新大統領を世界は迎えようとしています。彼の選挙スローガンに“Build Back Better”というものがありました。その意味は「より良い復興、より良い再構築、より良い社会を」という思いが込められているそうです。日本のことわざに意識をするなら「災い転じて福となす」でしょうか。来たるべきアフターコロナのフェーズが「福」となりますよう。ともに手を携え、前進の年としようではありませんか。

結びになりますが、九州兼喜会各社様の益々のご隆盛とご繁栄、併せて令和3年が皆様方にとって素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



## 兼喜会議事録

### ○理事会

と き	8月5日(水) 16:00~
ところ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他10名 調達部より 谷口部長 様

#### 【議 題】

1. 全九州役員会の件
2. 全国連合兼喜会支部長会議(九州開催)の件
3. 中間報告
4. その他

### ○理事会

と き	11月6日(金) 12:00~
ところ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他9名 調達部より 谷口部長 様

#### 【議 題】

1. 全九州役員会の件
2. 令和3年九州兼喜会定時総会の件
3. その他

### ○青年部幹事会

と き	8月24日(月) 12:00~
ところ	兼喜会事務所

と き	9月28日(月) 18:00~
ところ	ソラリア西鉄ホテル

と き	10月26日(月) 12:00~
ところ	兼喜会事務所

### ○青年部後継者育成研修及び青年部秋の研修会

※新型コロナウイルス感染防止の為中止

### ○役員会

と き	9月11日(金) 15:30~
ところ	アートホテル鹿児島
出席者	篠森会長他14名

#### 【議 題】

1. 令和2年九州兼喜会、災害防止協議会決算  
中間報告の件
2. 青年部
3. その他
4. 各支部の意見

### ○役員会

と き	12月1日(火) 16:00~
ところ	ソラリア西鉄ホテル
出席者	篠森会長他16名

#### 【議 題】

1. 令和3年九州兼喜会定時総会の件
2. 清水建設全国連合兼喜会第62回定時総会  
(北陸大会)の件
3. その他
4. 各支部の意見

と き	11月19日(木) 12:00~
ところ	兼喜会事務所

と き	12月9日(水) 18:00~
ところ	ソラリア西鉄ホテル



## 会員の動向

### 叙勲・国家褒章受賞

受賞おめでとうございます

○瑞宝単光章

沖繩古賀防水工事業

古賀 博美 殿



### 代表者名変更

○(株)松川物産 (セメント・生コンクリート)

R2.10.5変更

旧会員名：松川 勝彦→新会員名：松川 智彦



### 〈訃報〉

謹んでご哀悼の意を表します。

○(株)松川物産 (セメント・生コンクリート)

松川 勝彦 殿 (84歳)

令和2年10月5日ご逝去



発行所 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル  
清水建設九州支店内 九州兼喜会

印刷所 川本印刷株式会社  
TEL 092-591-5110